

○令和5年度、最初の学校運営協議会が、6月22日(木)に行われました。

今年度の運営委員は、計14名。後援会会長や公共施設の館長、主任児童員や交通指導員、PTA本部役員など、本校を支えてくださっている様々な団体からの代表者が一堂に会し、今年度の本校の学校経営方針の承認後、今年度の協議会の取組について、熟議を重ねました。



○まずは、教頭が「与野八幡小学校の子どもたちに、身に付けさせたい力」の確認と、本協議会の進め方について、説明しました。



◎学校運営協議会準備会の熟議

を通して設定した「与野八幡小学校の子どもたちに、身に付けさせたい力」は、次の5つです。

- ・「人間力の育成」
- ・「チャレンジ精神」
- ・「自分から挨拶ができる」
- ・「たくましさと思いやり」
- ・「自ら考え、判断し、行動に移すことができる態度」

◎この中から、今年度、学校と一緒に、「それぞれの立場でもできる」、子どもにはぐくませたい力について、2つのグループに分かれて協議しました。





○保護者や地域の皆さんが、ともに意見を交わし、知恵を出し合いながら、学校と協働して取り組むことについて、終始、真剣に話し合いが進められていきました。子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校づくり」の、あるべき姿が垣間見られました。





◎協議後の発表では、Aグループ、Bグループ共に、本校の子どもに「特に身に付けさせたい力」という視点で考えた結果、どちらも同じ内容の考えが出されました。

◎発表後に教頭が、2つのグループからの意見をまとめ、本運営協議会の今年度の取組の重点として、「自分から挨拶ができる子どもを、育てよう。」となりました。

本校の子どもたちは、挨拶のできる子どもが多いのですが、さらに一歩進めた取組を、それぞれの立場で考え、実践してまいります。

